

# 館山を 魅力あふれる公園に

[特集] 館山公園整備事業

## 館山を 魅力あふれる公園に



間伐された木材は、階段づくりなどに利用されます。



今年度間伐が行われた部分(右下に見えるのが「手・まめ・館」)



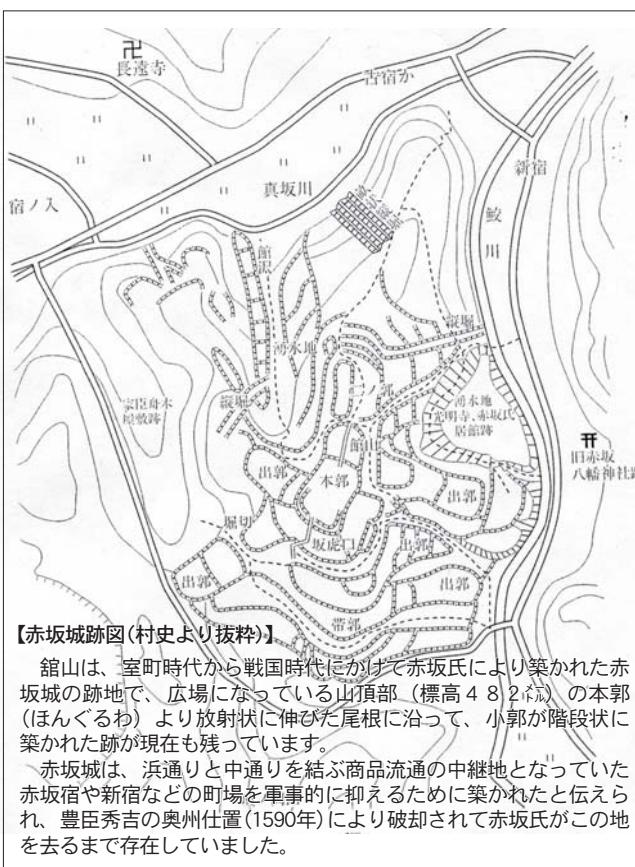
もりづくり100年委員会では、館山公園の整備計画を始め、鮫川村の将来の森づくりが検討されています。



森林環境学習で、きのこの植菌に挑戦する子どもたち



上空からみた館山(中央部分)



**荒廃が進む里山の景観**

豊かな自然の中でも田んぼや雑木林などの里山の景観は、農林業の営みによって維持されるため、自然環境との共生の原点であるといえます。里山の原風景を残した鮫川村でも、農業経営者の高齢化や後継者不足など、時代の変化により耕作放棄地や荒れた山林が増え続けています。

その一方で、中山間直接支払交付金事業などにより、田や畠などの景観を維持する取り組みも行われていますが、山林については管理が十分とはいえない里山の景観の荒廃がますます加速するという問題に直面しています。

同じように村の中心部に位置する「館山」も手入れが十分に行き届かず、整備されたアスレチック施設なども老朽化し、利用者も減つていました。

そこで、地域発展のシンボルとして、景観を整備するとともに、人が集まる魅力ある地域づくりを進めていくために「館山公園整備事業」が始まりました。

**整備の基本となる三つの方針**

公園づくりは、「地域住民および都市住民の参画による体験学習型の森づくり」、「美しい里山の風景と食する森づくり」、「元気の出るセラピーの森づくり」の三つを基本方針に行われます。

一つ目の「地域住民および都市住民の参画による体験学習型の森づくり」では、これまで村内各地

■問い合わせ  
村農林課☎ 49-3114

